

しわ 紫波ネット

人と地域をつなぐ広報紙

紫波ネット953号

平成29年2月8日発行 | 岩手県 紫波町

〒028-3392 紫波町紫波中央駅前二丁目3-1

編集・印刷 川嶋印刷株式会社

<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>

SHIWA-NET



寒さを吹き飛ばす 雪中の熱戦!



第5回雪合戦大会は1月14日、県フットボールセンターを会場に開かれました。今年は紫波町と矢巾町の小学生チーム7チームが参加し、銭形スーパーキッズが5年連続の優勝を果たしました。優勝チームのキャプテン佐々木慎吾君(長岡小6年)は「決勝戦は緊張しましたが、落ち着いてプレーした結果、優勝することができてとてもうれしいです。後輩の皆さんには、6連覇に向けて頑張ってもらいたい」と喜びを語りました。

2

No.953 2017

特集

「地域おこし協力隊」を紹介します

リノベーションまちづくり推進担当 石澤 康次さん04

地域の未来を支える363人が成人 02

図書館は農業を応援しています! 06

第2回胡堂・あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」入賞者 .. 09

豊かな公が息づくまち 10

最初の出会いを大切に～結婚・交流支援の活動紹介～ 18

行ってみよう めぐって学んで五感で味わう紫波探訪 24



地域の未来を支える 363人が成人

町の成人式は1月8日、サン・ビレッジ紫波で行われ、今年成人を迎えた363人(男性186人、女性177人)のうち307人が参加しました。好天に恵まれた会場には、背筋を伸ばしたスーツ姿の男性たち、きらびやかな振袖などに身を包んだ女性たちが続々と到着し、会場のいたるところで、友人たちとの再会を喜ぶ笑顔が見られました。

式典の中で熊谷町長は「日本の未来をつくるのは皆さんたちです。スマートフォンなどが普及し、さまざまな情報があふれていますが、情報をいかに自分のものとして有意義に活用できるかは実体験に左右されます。経験が大事な時期なので、失敗を恐れずにいろいろなことにチャレンジしてください」とメッセージを贈りました。

また、成人代表の鈴木健太さん(古館地区)は「昨年開催された希望郷いわて国体・いわて大会では選手たちの頑張る姿からたくさんの方々の勇気や希望をもらいました。私たちも多くの方々に勇気や希望を与えられるような人間になり、町の未来を支えていくことが目標です。感謝の気持ちを忘れず、力強く生きていきます」と成人の決意を述べました。



古館地区



今泉 美里さん(左) 4月から保育士になります。子どもの人生にいい影響を与えられるような保育士になりたいです。

岡崎 真純さん(右) まだ成人した実感がありませんが、人のことを思いやることのできる看護師を目指して頑張ります。

二中学区



作山 裕貴さん(星山・左) 明るく健康に過ごしていきたいです。将来は県内で土木関係の仕事に就き、社会を支えたいです。

藤井 静磨さん(佐比内・右) 4月から社会人として県内で働きます。周囲の人から尊敬される大人になりたいです。

日詰地区



高橋 俊介さん(左) 大学で薬学の勉強をしています。将来的には日詰地区に戻ってきて、地域に貢献したいです。

鈴木 智大さん(中央) 4月から製造業の会社で働きます。頼りがいのある男になりたいです！

竹原 直輝さん(右) 社会の一員として、岩手の活性化の礎になれるように頑張ります。

三中学区



岡本 直子さん(片寄・左) 管理栄養士を目指して勉強を頑張っています。常に感謝の気持ちを持ち続けられる大人になりたいです。

武田 葵さん(水分・右) 将来は発展途上国を支援する仕事に就きたいと思っています。大事な人を守る強い女性になりたいです。

赤石地区



関川 碧さん(左) 4月から保育士として働きます。子どもたちに頼りにされる保育士になれるように頑張りたいです。

鷹嘴 里奈さん(右) 成人としての責任を持って行動したいです。分別のつく大人になることが目標です。

古館地区



及川 一真さん(左) 石油資源の会社に勤めたいと思い、勉強を頑張っています。関わった人々を大切に、良い関係を築いていける大人になりたいです。

倉内 トーマスさん(右) 今は親に頼っている部分もあるので、自立した一人前の大人になりたいです。将来的には仕事を通じて町に恩返しをしたいです。



中学時代の先生たちからのビデオメッセージに顔がほころぶ新成人たち



会場内で選挙模擬投票を実施

町選挙管理委員会は、若い世代への選挙啓発のため、昨年に引き続き成人式会場に模擬投票所を設置しました。式典参加者の約93%に当たる287人が、2人の候補者のうち、自分の考えに合った候補者を選び、一票を投じました。



「地域おこし協力隊」を 紹介します

リノベーションまちづくり推進担当

いしざわ こうじ
石澤 康次さん

町は1月4日、地域おこし協力隊「紫波タウンイノベーターズ」の辞令交付式を行い、青森県青森市出身の石澤康次さんに辞令を交付しました。町が取り組みを進める「リノベーションまちづくり」の推進担当として、地域住民や関係機関と連携しながら活動を展開し、遊休不動産を活用して町の課題解決を図っていくことを目指します。今回は、石澤さんが地域おこし協力隊に興味を持ったきっかけやまちづくりへの思いなどについてお聞きしました。

■地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、平成21年に国がつくった制度です。都市部に在住し、地方への移住や地域社会への貢献に関心を持つ人が、過疎地域などの条件不利地域に住民票を移し、地域に暮らしながら地域活性化や都市住民の移住・交流の支援などのさまざまな地域協力活動を行います。隊員の定住・定着を図るとともに、一連の活動を通じて、地域力の維持・強化を図っていくことも目的としています。活動期間はおおむね1年以上3年以下です。

■どんな人になるの？

「地域おこしに関わりたい人」「地方に暮らして自分の夢を実現したい人」など、地域活性化に意欲のある人。

地域おこし協力隊導入の効果

～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取り組み～

地域おこし 協力隊

- 自身の才能・能力を生かした活動
- 理想とする暮らしや生きがい発見

地域

- 斬新な視点(ヨソモノ・ワカモノ)
- 協力隊員の熱意と行動力が地域に小さな刺激を与える

地方公共団体

- 行政ではできなかった柔軟な地域活動支援
- 住民が増えることによる地域力の維持・強化



皆さんはじめまして!この度、町の地域おこし協力隊として着任した石澤康次です。県外で働く中で自分の生活環境や暮らし方に疑問を抱き始めるようになり、今回思い切って東北にUターンしてきました。久しぶりの雪道にはまだ慣れることができず、毎日へっぴり腰になりながら通勤しています。

普段は情報交流館にいますが、街中で見かけた際は声を掛けていただけると嬉しいです。よろしくお願いします!

インタビュー

[石澤さんのプロフィール] 青森県青森市出身、日詰地区在住の27歳。岩手大学工学部を卒業後、医療機器の商社に就職。愛知県名古屋市、静岡県浜松市、静岡県静岡市などで合わせて約4年間暮らした後、町に移住し、町の地域おこし協力隊として1月1日付けで着任。趣味はギター。



▼町にどんな印象を持ちましたか。

生まれも育ちも青森県なので、比較的雪は少ないなという印象です。大学時代は盛岡市で暮らしていたのですが、町のこととは何も知りませんでした。

昨年8月に初めて町を訪問したときの第一印象は「人が少ないな、暮らしていいのかな」ということです。

▼その不安は解消されましたか。

今はまず「やってみよう」という思いが強いです。意欲は十分あるので、気負わず誠実に役割を果たしていきたいと考えています。

▼なぜ地域おこし協力隊に興味を持ったのですか。

簡単に言うと「生きる意欲・生きがい」に

ついて深く考えるようになったことが、全ての始まりです。

私が名古屋で働いたのは、そもそも人生のチャレンジとして未知の場所で働こうと思ったからでした。都会で働きながら自分の可能性について考え続けていました。

ある時、親しい友人が

脱サラして青森市で自家焙煎コーヒー豆の販売を始めたという話を聞き、「自分の欲しい暮らしを自分でつくりたい」と思うようになりました。自分の「やりたいこと」や「やってみたいこと」を実行すると決心する一方で、「地域の中で地域の幸せのために役立つ人材になりたい」ということも考えるようになりました。

その後、東京都千代田区にある「ふるさと回帰支援センター」に相談に行ったり、地域おこし協力隊の制度を紹介され、応募しました。

▼なぜ、紫波町を選んだのですか。

第2のふるさとともいえる盛岡市に近いこと。盛岡市を拠点に活動している「GEEP's」というギターアンサンブルサークルに参加しているので、町に住めば

その活動も続けていけそうだなと思ったこと。町の職員に熱い人が多いこと。素直にこの町に住んでみたいと思えたことなどが主な理由です。

▼リノベーション推進担当として、どんなことをしたいですか。

私自身が地域にとつての小さい起爆剤になりたいです。新しいことや、これまでに無かったことを町の皆さんと一緒につくってみたいです。

現在、日詰商店街の中でリノベーションを進めている物件があります。すでに断熱改修工事が始まっているのですが、できれば協力隊の拠点事務所などに活用できないかと思っています。

リノベーションとは「ヒト・モノ・コト」が絶えず動き続けていることだと思っています。町内の魅力を生かしつつ、その中に新しい風を吹き込む。そんな活動をしていきたいです。

▼将来はどのようになりたいと考えていますか。

私の任期は毎年更新契約で最長3年です。その後は、町に住み続けて、起業したいと考えています。模索し、試行しながら、この町で夢を実現したいです。

しています!

図書館の「農業支援」コーナーには、農業機械や農薬、農産物加工に関する本など、農業に関するさまざまな本が並んでいます。農業支援に積極的に取り組む図書館は、全国的にも珍しいといわれています。図書館に足を運び、お気に入りの農業本を見つけてみませんか。



『野菜検定公式テキスト 暮らしに役立つ野菜の図鑑』

杉本 晃章／監修 平成28年4月 実業之日本社

170品目以上の野菜について、基本情報からちょっと得するおいしい話まで写真とともに掲載。巻末には「野菜検定」の模擬問題も収録。野菜についての知識をアップさせる本。



『だから、ぼくは農家をスターにする「食べる通信」の挑戦』

高橋 博之／著 平成27年6月 CCCメディアハウス

生産者を徹底取材した紙面に、生産物が付録になる斬新な情報誌「食べる通信」。「食」を通じて、「都市と地方をかきまぜる」ため奮闘する、著者の熱い志が伝わる挑戦の記録。



『リトル・フォレスト』

五十嵐 大介／著 平成16年8月 講談社

東北の片田舎「小森」に暮らす主人公の「おいしい」自給自足生活。おいしいものをつくるのは少し大変だけど、その手間ひまが豊かな時間に感じられる。森淳一監督により映画化された。



『田んぼアートのキセキ』

葛西 幸男／著 平成27年7月 主婦と生活社

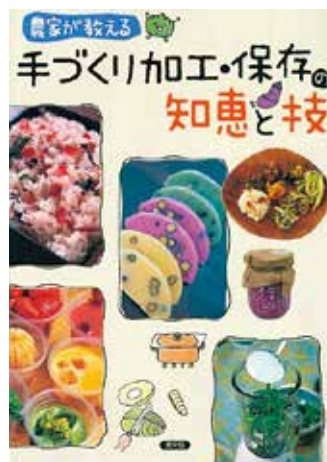
田んぼをキャンパスに見立て、色の異なる稲を絵の具代わりに巨大な絵を描く「田んぼアート」。人口8千人の青森県田舎館村が始めた村おこしの取り組みの軌跡。



『小さくて強い農業をつくる』

久松 達央／著 平成26年1月 晶文社

一流企業を28歳で退職し、あこがれの有機農業の道に足を踏み入れた著者。幾多の苦悩の先に見つけた「小さくても強い農業」とは。久松農園代表の著者が考える「これからの農家」の生き方。



『農家が教える手づくり加工・保存の知恵と技』

農山漁村文化協会／編 平成27年8月 農山漁村文化協会

産直などで大人気、農家の名人たちのアイデアがつまった加工・保存レシピから、加工用の便利な道具まで知ることができる1冊。雑誌「現代農業」の平成23年から26年までの掲載記事を集約。

図書館は農業を応援

～ 図書館司書 おすすめの農業本 ～

【問合せ】紫波町図書館 ☎671-3746 みなよむ



『幸福な田舎のつくりかた 地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』

金丸 弘美／著 平成24年9月 学芸出版社

全国の農山漁村を訪ね、各地で地域活性化アドバイザーを務める著者が、9つの成功事例を紹介。いずれも「リーダーが地域の強みを把握」「コンセプトが明確」「ぶれない決断」という共通点がある。



『定年就農 小さな農でつかむ生きがいと収入』

神山 安雄／編著 平成28年7月 素朴社

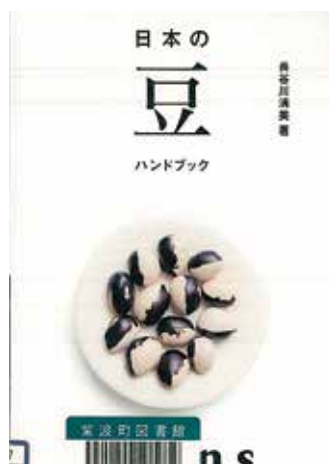
定年後、農業に携わりながら暮らすための指南書。定年後に農業に携わる方々は用意周到で、労を惜しまずして成功をつかみ取っていることが分かる。農業を始めるに当たっての心得や就農・移住のための全国の相談窓口も掲載。



『森ではたらく! 27人の27の仕事』

古川 大輔／編著 山崎 亮／編著 平成26年5月 学芸出版社

「森を伐する人」など一般的な林業の仕事のほか、「森で染める人」「森を届ける人」など、森に関わる27の仕事を紹介。作家の三浦しをんさんと映画監督の矢口史靖さんも寄稿している。



『日本の豆ハンドブック』

長谷川 清美／著 平成28年7月 文一総合出版

日本各地の在来豆約200品種を産地ごとに掲載。写真と解説のほか、仲間分けや食べ方、コラム、入手方法と探し方、選び方など著者が国内を歩いて得た豆の情報を紹介する一冊。



『ワインの鬼、[有機葡萄]六十年の軌跡』

濱野 吉秀／著 平成28年4月 筑波書房

戦前・戦中・戦後の動乱の中、日本の気候や地質などに適応するブドウとワイン造りのために「鬼」となり、一生をかけた兄弟がいた。日本産の有機ブドウの歴史と可能性を認識する一冊。

ルーラル電子図書館を 使用してみませんか

ルーラル電子図書館って何？

「食と農」についての情報をパソコンで簡単に調べられるデータベースです。家庭菜園から本格的な農業技術まで農業全般に役立つ情報を入

手することができます。

どんなことが調べられるの？

・ しいつこい雑草に効く除草剤は何？
・ 病害虫から野菜を守るためにはどうしたらいいの？

・ みそやジャム作りに興味があるけど、どんな風に作ればおいしくできるか知りたい

・ 野菜を育てるためにどんな肥料を使えばいいの？
・ ナスの接ぎ木の方法を知りたい など

これら以外にも、果樹栽培や花の育て方など幅広い情報を検索することができます。図書館カウンターで申し込めば、どなたでも使用できます。気軽に司書にお声掛けください。



農業支援コーナー隣にあるルーラル電子図書館専用パソコン

利用者の声

百済 和至さん

農業に関することで人に聞いてもはつきりしたことが分らないときやインターネットで調べても出てこないとき、すぐに情報を集めたいときなどにルーラル電子図書館を使用しています。主に栽培技術や農作業のアイデアなどを探すことが多いです。「現代農業」も定期購読していますが、ルーラル電子図書館を使うと過去の雑誌の記事も一括で検索することができます。とても便利です。



図書館入り口には「こどものうぎょう」コーナーを設置。子どもにも分かりやすい農業関係の本を展示しています

「出張としょかん」を開催します

昨年開催し、大好評だった「出張としょかん」。今回も「観て学ぶ 野菜づくり名人になる!コツと裏ワザ!」と題して、すぐに真似できる野菜づくりのコツと裏ワザについて映像を見ながら楽しく学びます。 **参加無料 申込不要**

■日時・会場

2月21日(火)午後1時30分～3時 彦部公民館

2月22日(水)午後1時30分～3時 志和公民館

■解説 柳島 かなたさん (一社)農山漁村文化協会

■問合せ 紫波町図書館 ☎671-3746

彦部公民館 ☎676-4670

志和公民館 ☎671-7112



昨年11月に志和公民館で開いた「出張としょかん」の様子。参加者は野菜づくりのコツについて熱心にメモを取りながら聞き入っていました

第2回胡堂・あらえびす大賞 『読書と音楽の感想文コンクール』の 入賞者を紹介します

自身の作品を
朗読する胡堂
賞の受賞者



表彰式に参加した皆さん

町は1月22日、第2回胡堂・あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」の表彰式を野村胡堂・あらえびす記念館で行いました。野村胡堂は「銭形平次捕物控」などの作者として知られる小説家であり、「あらえびす」の名でフリスック音楽の評論家として活躍した町の名誉町民です。このコンクールは、その功績をたたえ、広く町民の皆さんに読書と音楽に親しんでほしいという願いで始まったものです。

本年度は110点の応募があり、表彰式では胡堂賞・あらえびす賞・教育長賞の受賞者12人に賞状と副賞が手渡されました。その後、胡堂賞・あらえびす賞の受賞者が作品を朗読しました。本の登場人物に自分の生活体験を重ね合わせ、新たな気付きや心の変化をつづった読書感想文。そして音楽に触れて、体が震えるほど感動した思いを伝える音楽感想文に、家族や関係者約30人は、時折うなずきながら聞き入っていました。

バレエをテーマにした本を読んだ古館小学校6年生の佐々木咲綾さんは、鼓笛隊での経験から心を開くことの大切さについて書いた感想文を読み上げました。「今までは意見を言うことが恥ずかしかったけれど、積極的に意見を言うようになりました。本を読むことでさまざまな体験ができ、自分の世界が広がります。これからもいろいろな分野の本を読みたいですね」と本がますます好きになったようでした。

入賞作品が掲載された感想文集を、図書館や各地区公民館などに配置しています。手に取ってご覧ください。

【第2回胡堂・あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」入賞者】 (賞・学校名・学年・氏名・題名・敬称略)

●読書感想文の部

《小学生低学年の部》

胡堂賞

赤石小学校2年 細谷 莉音
「のこさないで食べるよ」

教育長賞

水分小学校2年 鷹木 太一
「ふしぎなひみつがたくさんある」

優秀賞

古館小学校1年 岩崎 幸星
「キツツキって、すごい!」
赤石小学校1年 伊藤 衣織
「たからもの」

《小学生中学年の部》

胡堂賞

彦部小学校4年 森田 結子
「あきらめない心、協力する心」

教育長賞

古館小学校4年 晴山 瑠乃
「ちっこばあばの泣いた夜を読んで」

優秀賞

日詰小学校3年 高橋 歩夢
「お父さんのような大人になりたい」
水分小学校4年 細川 大斗
「もも子のねがい」

《小学生高学年の部》

胡堂賞

古館小学校6年 佐々木 咲綾
「心を開いて」

教育長賞

古館小学校6年 鳥居 琢磨
「生きることの大切さ」

優秀賞

日詰小学校5年 桜田 美優
「自分自身に勝つこと」
日詰小学校6年 今 咲由美
「命の大切さを知って」

《中学生の部》

胡堂賞

紫波第一中学校2年 佐々木 深里
「未来に向かって生きる」

教育長賞

紫波第一中学校2年 山本 愛実
「生きるということ」

優秀賞

紫波第一中学校2年 村松 康太郎
「自分を変えたキツネの言葉」
紫波第二中学校3年 川村 海
「笑顔でいること」

《高校生の部》

胡堂賞

紫波総合高校2年 工藤 逸奎
「ホセ・ムヒカの言葉を読んで」

教育長賞

紫波総合高校2年 丹内 宥佑
「散っていった桜たち」

優秀賞

紫波総合高校2年 熊谷 祐香
「忘れてはいけない日」
紫波総合高校3年 関野 叶恵
「居場所」

●音楽感想文の部

あらえびす賞

上平沢小学校6年 伊藤 聖華
「初めてきいたタンゴの演奏」

教育長賞

上平沢小学校3年 北條 想達
「心にのこった曲 さとうきび畑」

優秀賞

上平沢小学校1年 伊藤 成実
「おどるこねこをきいたよ。」
赤沢小学校1年 大弓 まな美
「うたが入ると」
日詰小学校3年 小原 奈々
「歌はわたしに元気をくれる」



「地域づくり活動補助金」は、地域の皆さんの柔軟な発想による地域の活性化や課題解決につながる活動、また、それに取り組むNPO法人やボランティア団体、自治組織などの組織づくりを支援するための補助金です。本年度は4団体が補助金を活用しています。今回は、1年を通じて活動に取り組んできた2団体を紹介します。

みんなの笑顔のために私たちの 元気を伝えたい!

★子ども元気隊

「地域のさまざまな年代の人とふれあい、心に残ることをしたい」と彦部の後庵・久保地区の子どもたちが立ち上がりました。

子ども元気隊（佐藤楓リーダー）は、歌や折り紙などの贈り物を地域の家庭に届けたり、季節の行事を行ったりしながら、地域が笑顔になる活動を進めています。

4月には、地区にある約20軒の家庭を訪問。一軒一軒の屋号を聞きながら、自分たちの顔と名前を覚えてもらい、地域を知ることから始めました。

6月には、地区内の畑を借りて「きぼうのうえんひろば」を開園。農家の方々から野菜や花の育て方を教わりました。地域の方々に届けきれないほ



小学1年生～中学1年生の隊員で構成される子ども元気隊



地域の皆さんの願いを込めた七夕飾り



「みんなのお楽しみ会」には熊谷町長（写真右）が招待され、農園で採れた野菜が手渡されました



新年回りでは拍子木を打って火の用心を呼びかけました

ど豊作だった野菜は、町内のイベントでも大好評でした。

子ども元気隊は、地域の皆さんからたくさんのお恵や教えも受けました。高齢者の方々から聞いた健康法は「よくねよく食べよくつこく」と標語にまとめて、各家庭に配布しました。

七夕では皆さんに書いてもらった短冊を笹に飾って地域の願いを込めました。この短冊で、みんなが盆踊りやバーベキュー、演奏会、おしゃべりなどがしたいと思っていることが分かり、8月に「みんなのお楽しみ会」を開催。「ほんに彦部はよいところ」という元気隊の歌声とともに踊りの輪が広がりました。参加した佐藤八重子さんと佐藤アイ子さんは「昔のように踊るのは難しいですね。次の機会には足腰

を鍛えて一緒に踊りたいです」と子どもたちからたくさんの方々の元気をもらった様子でした。

秋に行った収穫祭では、地元の農家組合の皆さんと一緒に餅つきや「あきもち（懇親会）」を楽しみながら、収穫祭の由来などを学びました。この他、国体の出張応援や敬老会にも参加。年縄作りや火の用心の呼びかけ、小正月行事の「カセギドリ」など、これまでの活動は25回以上にのぼります。

「元気を伝えたらもっと喜んでくれる。地域もきっと元気になる」という子ども元気隊の思いは、「町内の皆さんにも元気を届ける」というさらなる目標に向けて進行中です。

平成29年度地域づくり活動補助金事業提案募集中

地域の活性化や課題解決のために町内で活動する団体を支援します。5人以上で構成される団体を対象に、3月3日（金）まで事業提案を受け付けています。

また、補助金の公開事業提案会を3月25日（土）に情報交流館で開催します。この提案会の公募審査員も募集していますので、興味のある人は気軽に問い合わせください。（詳しくは『紫波ネット』1月号No.951 P11をご覧ください）

ウォーキングを生かした「地域づくり」

★長岡ゆめプラン推進委員会

長岡ゆめプラン推進委員会七木田明会長は「気軽に利用できるウォーキングコースの策定や歴史や文化を守り育てる活動を通じて、みんなが地域に愛着を持つてほしい」という思いで、地域の人たちと一緒に健康づくりと地域づくりを結び付けた活動に取り組んできました。ウォーキングコースは、およそ自治公民館の区域ごとに8つのルートを設定。同委員会が作成したウォーキングガイドマップには、各コースの特徴や距離、標高差、主な経由地などが丁寧に紹介され、おすすめポイントから撮影した写真も添えられています。このマップは、長岡地区全戸に配布されるほか、町内の各地区公民館や産直などに設置される予定です。

また、道に迷わず気軽にウォーキングができるように、各コースのポイントには、手作りの道標約40本を雪解けを待つて設置する予定です。

10月24日には長岡公民館との共催で「紫波町名所めぐりin長岡」を開催。紫波第二中学校の生徒と町内外からの参加者合わせて約50人が、ガイドマップを手に「東中央・西新田コース（館山コース）」を1時間半かけて散策しました。参加した生徒たちは「初めて通る道が多く、知らない場所がたくさんありました。とても新鮮な気持ちで歩くことができました。良かったです」と声を弾ませていました。

より多くの人にコースを知ってもらうため、今後は案内板を長岡農村公園と産直「ルート396長岡」に設置する予定です。地域の人たちが温かく迎えてくれるウォーキングコースに皆さんも出かけてみませんか。



8つのコースと見どころが記載されたウォーキングガイドマップ



長岡城跡について説明を受ける紫波二中の生徒たち



普段通ることの少ない道もコースになっています

地域を越えた伝統文化の共演

同委員会のもう一つの活動テーマは「伝統文化さんさ踊りの共演」です。5回目の開催となる「ゆめあかり」が7月30日、長岡農村公園で行われました。このイベントに他地域のさんさ踊り団体を招待し、地元の長岡さんさとの共演が実現。地域を越えた人たちを巻き込み、より一層にぎやかなイベントになりました。



世代を超えた人が集う「ゆめあかり」の会場で披露されたさんさ踊りの共演

★「ゆいっとサロン」が追跡取材!

市民活動支援センター「ゆいっとサロン」では、今回掲載した補助金活用団体のほか、「水分まちづくりの会」と「チームあかいし 子どもの育ち応援推進の会」(『紫波ネット』8月号No.941 P18~19掲載)を追跡取材しました。取材に当たったスタッフの佐藤富美子さんは「活動している人たちと知り合うきっかけになり、地域の動きが良く見えました。地域で活動する人が増えていくのが楽しみです。これからも情報を集めて地域の活動を応援していきたいです」と取材を振り返りました。

活動団体の記録は、情報誌「ゆいナビ」やブログ「ゆいっと気まぐれ日記」で発信しているほか、「ゆいっとサロン」内でパネルも展示しています。また、「ゆいっとサロン」では平成29年度の地域づくり活動補助金についても相談を受け付けていますので、気軽にお立ち寄りください。

【市民活動支援センター「ゆいっとサロン」】

■開設日 火・木・土の午後1時~6時 ■開設場所 情報交流館 1階 ☎676-2468



佐藤さん

地域での活動や団体の運営などについて、気軽に相談ください!

スポーツ ニュース

選挙や政治への 関心深める

～紫波二中で
選挙啓発授業～

紫波第二中学校(田村敏実校長)で12月6日、明るい選挙啓発授業が行われました。県明るい選挙推進協議会(小水内邦子会長)と町明るい選挙推進協議会(山下研悦会長)が主催。3年生55人が、講師による授業や模擬投票を通じて選挙制度について学びました。高橋一輝さんは「模擬投票でしたが、学校内で行う選挙とは全く違う緊張感がありました。有権者となったときは選挙に行き、自分の考えに合った候補者を選びたいです」と意識を高めていました。



生徒たちは架空の選挙公報を読んだ上で、自分の考えに合った候補者に一票を投じました

明るい選挙啓発ポスターコンクールで2人が入賞

佳作



長岡小学校 6年 佐々川 楓加さん

【作品への思い】ポスターを見た人たちに「みんなの笑顔を守りたい」と思ってもらえるように描きました。

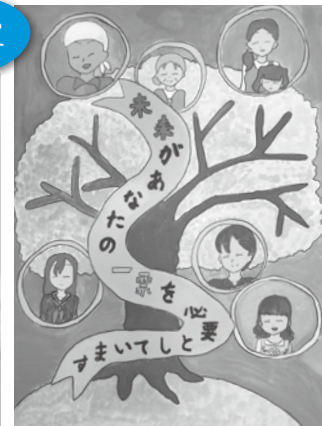


優秀賞



古館小学校 6年 高橋 のあさん

【作品への思い】たくさんの一票が集まればたくさんの笑顔が増えるということを伝えたいです。

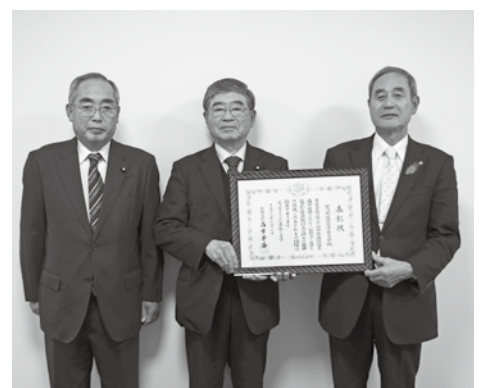


「平成28年度岩手県明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、応募総数1518点の中から、町内2人の作品が入賞しました。

選挙権年齢引き下げへの取り組みが評価

～町選挙管理委員会が総務大臣表彰を受賞～

町選挙管理委員会(生内正昭委員長)が第24回参議院議員通常選挙総務大臣表彰を受賞し、12月13日に役場会議室で伝達式が行われました。選挙権年齢引き下げに伴う若い世代への啓発として、投票立会人や投票事務アルバイトに公募の学生を起用、18歳20歳の新有権者への啓発はがき送付、将来の有権者である紫波三中生4人による期日前投票所での職場体験学習を実施したことが評価されたもの。熊谷町長から賞状の伝達を受けた生内委員長は「これからを担う若い世代に、選挙や政治に対する関心を高めてもらうことをねらいとして事業を実施しました。取り組みの成果が実を結び、同選挙の18歳19歳の投票率は県内で3位となり、全体の投票率も前回を上回る結果となりました」と成果を話し、同席した各関係者に感謝の言葉を伝えました。



熊谷町長から賞状の伝達を受けた生内正昭委員長(中央)と委員長職務代理者の伊藤時男さん(左)



催し

いわてS-1スイーツフェア
2017

地元で人気のスイーツやおやつなど
のご当地グルメが出店します。スー
ジイベントや盛岡エリアの豪華賞品が
当たる大抽選会も行われます。

■日時 2月25日(土)～26日(日)

午前10時～午後4時

■会場 ビッグブルーフ滝沢(滝沢市下
鶴飼1-15)

■問合せ 盛岡・八幡平元気まるごと
発信事業実行委員会事務局(盛岡広
域振興局経営企画部内)
☎(629)6516

第4回紫波ウイング杯
ランニングバイク
チャレンジレース

ランニングバイクに乗って楽しみな
がら体を動かし、バランス感覚や頑張
る気持ちを育みませんか。練習日を設
けるので、初めての人も安心して挑戦
できます。

■日時 3月5日(日) 午前9時～

■会場 サン・ビレッジ紫波

■対象 6歳以下の未就学児

■定員 年長・年中・年少以下の部
各12人(先着順)

■参加費 1500円(保険料込)

■申込・問合せ 2月28日(火)まで
紫波ウイング事務局
☎080(5847)5962
✉shwa-wg@gymna-shwa.jp

肝炎教室

町は、慢性肝疾患の人やその家族を
対象に、講演会を開催します。気軽に
ご参加ください。

参加無料

■日時 3月6日(月) 午後1時30分
～3時(受付午後1時～)

■会場 役場1階はつらつホール

■内容

・講演「生き生きした毎日を送るた
めに『日常生活のポイント』」(仮題)
・講師 岩手医科大学附属病院 看護
師長 地域肝疾患アドバイザー 岩泉
康子さん

■申込・問合せ 3月2日(木)まで

長寿健康課 健康推進室
☎(672)2111 内線1343

あらえびす特別講演会

野村胡堂と盛岡市出身の言語学
者・金田一京助は、盛岡中学時代から
晩年にかけての親友であり、野村胡

堂・あらえびす記念館には、胡堂の葬
儀の際に京助が弔辞を読んだことな
どが記録されています。今回は金田一
京助の孫にあたる金田一秀穂さんを
講師に迎え、祖父の思い出や胡堂との
つながりなどについてお話ししてい
た

■日時 3月12日(日)

午後1時30分～3時

■会場 野村胡堂・あらえびす記念館
ホール

■講師 金田一秀穂さん(言語学者で
杏林大学教授・金田一京助の孫)

■参加費 500円(入館料含む)

■申込・問合せ

野村胡堂・あらえびす記念館
☎(676)6896

平成28年度
紫波町発掘調査報告会

町教育委員会が平成28年度に実施
した埋蔵文化財発掘調査成果の報告
会を開催します。

申込不要

■日時 3月15日(水)

午後6時30分～8時30分

■会場 中央公民館2階 研修室

■内容 日語西遺跡(日語西4丁目地
内)、南日語大銀Ⅱ遺跡(南日語字小
路口地内)、間木沢遺跡(大吠森字間

木沢地内)発掘調査の報告、遺物展
示・説明

■問合せ 生涯学習課 学習推進室

☎(672)2111 内線3120

募集

平成29年度の奨学生を募集

平成29年度の高校、大学などの奨学
生を募集します。

■貸付金額(月額)

高等学校2万円(県外3万円)／高
等専門学校・専修学校(専門課程)
3万円／短期大学・大学3万円(県外
4万円)

■償還方法

卒業後、在学した学校の修学年限の
2倍相当期間以内に償還(例…4年
生大学の場合8年間)

※無利息。ただし期間超過の場合は延
滞金あり

■申込・問合せ 3月1日(水)～31日

(金)の期間に、学務課で配布する申
請書類に必要事項を記入し、必要書
類を添えて申し込みください。(審
査決定は4月下旬)

学務課 学務室

☎(672)2111 内線3150

「紫波町勤労者教育資金」 随時受け付け中

東北労働金庫は町と提携して、進学に要する資金を必要としている勤労者に対し、貸し付けを行っています。

■対象者 次の①～⑤の条件を全て満たしている人

- ①町内に住所を有していること／②年齢が20歳以上／③同「の勤務先に引き続き1年以上勤務し、継続的に収入があること／④その世帯において生計を同一にする高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学に進学、修学する人がいること／⑤町税を完納していること

■利率 年1.65%(今後変動する場合があります)

■貸付限度額 300万円以内(1件あたり)

■貸付期間 10年以内(据置期間を含む)

■受付窓口 東北労働金庫盛岡支店
☎(629)1111

相談

司法書士による相続登記相談

県司法書士会は毎年2月を「相続登記はお済みですか月間」として、無料相談や特設相談会を開きます。電話に

よる相談も受け付けますので、気軽にご利用ください。

相談無料

特設相談所

- ・日時 2月中の毎週金曜日
午前10時～正午
- ・会場 岩手県司法書士会館(盛岡市本町通2-12-18)
- ☎(622)3372

司法書士事務所における相談

- ・期間 2月1日(水)～28日(火)の平日
- ・会場 県内の各司法書士事務所

無料電話相談

- ・日時 2月1日(水)～28日(火)の平日
午前10時～午後1時
- ☎0120(823)815(通話無料)
- 問合せ 岩手県司法書士会事務局
☎(622)3372

出前無料労働相談会

職場のトラブルで悩んでいますか。労働者と使用者との間のさまざまな問題について、県労働委員会の委員(弁護士、労働団体役員、経営者など)が相談に応じます。事前予約の上、ご利用ください。

■日時 2月26日(日) 午後1時～4時

■会場 アイーナ7階ミーティングルーム707(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

■予約・問合せ 岩手県労働委員会事務局

局平日午前8時30分～午後5時15分
☎0120(610)797

お知らせ

水道お客様センターが移転

紫波水道お客様センターが、3月1日(水)から左記の場所に移転します。電話・ファクシミリの番号に変更はありません。

■新住所 日詰字郡山駅23-1(日詰商店街 盛岡信用金庫南側斜め向かい)

■主な業務 水道の使用開始・中止の受け付け、水道料金の収納・精算、水道料金・検針に関する問い合わせ対応

■問合せ 岩手中部水道企業団
紫波水道お客様センター
☎(676)2810
FAX(676)2165

岩手の仕事・就職情報サイト 「シゴトバクラシバいわて」

県内外で開催されるイベントやセミナー情報のほか、県内の企業情報、U・ターン就職の進め方のポイント解説、相談窓口や支援機関の紹介など、役立つ情報を多数掲載しています。県内企業の情報ページ「いわてのシゴトバ」では、職場の雰囲気や伝わる写真やコメント、若手社員からの

メッセージも掲載しています。

<http://www.shigotoba-iwate.com/>

■問合せ

- ・シゴトカフェいわて
☎(621)1171
- ・岩手県雇用対策・労働室
☎(629)5591

「マタハラ」防止措置が 事業主の義務になりました

平成29年1月1日から、改正男女雇用機会均等法および改正育児・介護休業法により、上司・同僚からの職場における妊娠・出産・育児休業・介護休業などに関するハラスメントを防止する措置が事業主に義務付けられます。これを受けて、岩手労働局では「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設しています。労働者や企業などから相談を受け付けていますので、気軽にご相談ください。

■相談内容 職場での妊娠・出産や育児休業・介護休業などに対するセクハラ、パワハラ

■相談先 岩手労働局 ハラスメント対応特別相談窓口(雇用環境・均等室内) ☎(604)3010
(受付時間 午前8時30分～午後5時15分)

家畜を飼育している皆さんへ 「家畜の衛生管理状況等の報告」を お忘れなく

家畜伝染病予防法により、家畜を飼育している人には、「家畜の衛生管理状況等の報告(定期報告書)」が義務付けられています。□蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの発生を予防するためにも、忘れずに報告しましょう。

■報告期限

- 牛・豚・馬・めん羊を飼育している人
→ 4月15日(土)まで
- 鶏・アイガモ・アヒル・ウズラ・キジ・ホロホロ鳥・七面鳥・ダチョウを飼育している人
→ 6月15日(木)まで

※愛玩用に少数の家畜を飼育している人にも報告の義務があります。

■報告内容 家畜保健衛生所から配布された様式に、今年2月1日時点の飼育状況を記入してください。報告様式は、役場農林課、JAいわて中央畜産課でも入手できます。

■提出先・問合せ

- 次のいずれかまで、郵送、持参またはファクシミリで提出してください。
- ・ 県中央家畜保健衛生所
☎688-4111 FAX 688-4012
 - ・ 役場 農林課 農業振興室
☎672-2111 内線2244 FAX 672-2311
 - ・ JAいわて中央 営農販売部 畜産課
☎676-3512 FAX 672-1595

県社会福祉協議会保育士 就職準備金貸付制度

県社会福祉協議会は、保育士の資格を持っている人の就職(再就職)を支援するための就職準備金の貸し付けをしています。

■貸付対象者

- (1) 保育士登録後1年以上が経過し、保育所などの施設に勤務経験がないか離職後1年以上経過した人で、平成28年1月20日以降に県内の保育所などへ新たに就職する人
※平成28年1月20日以降にすでに就職した人も対象になります。申請の際に、かかった経費の領収書などの添付が必要です。

- (2) 保育士として週30時間以上勤務する人

○募集期間 2月28日(火)まで

■貸付金の種類

- (1) 保育所などへの就職によって転居が伴う場合の転居費用
- (2) 転居先の賃貸物件の借り上げに伴う礼金や仲介手数料
- (3) 保育所などで使用する被服費
- (4) 保育所などの勤務に復帰するに当たり研修などを受けた際の研修費用
- (5) 保育所などへの通勤に要する移動用自転車などの購入費

■貸付額 1人1回 20万円(上限)を無利子で貸し付けます。詳しくは、県社会福祉協議会のホームページをご確認ください。

■申請・問合せ

(社福) 岩手県社会福祉協議会 ☎637-9611
<http://www.iwate-shakyo.or.jp/>

災害時避難情報の名称が変わりました ～「避難準備情報」が「避難準備・高齢者等避難開始」～

昨年発生した台風10号の水害では、「避難準備情報」の名称が分かりにくく、適切な避難行動が取られなかったため、高齢者の被災が相次ぎました。国はこれを重く受けとめ、高齢者などが避難を開始する段階であるということを明確にするため、「避難準備情報」を「避難準備・高齢者等避難開始」という名称に変更しました。

避難情報の種類	避難行動
避難準備・高齢者等避難開始	高齢者や体が不自由な人など、避難に時間がかかる人は避難を始めてください
避難勧告	速やかに避難を始めてください
避難指示(緊急)	緊急に避難してください

■問合せ 防災に関すること 総務課 消防防災室 ☎672-2111 内線2360
避難行動要支援者(高齢者・障がい者など)に関すること 町民福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1220

体育協会からのお知らせ なわとびチャレンジ大会

優勝を目指して、なわとびに挑戦してみませんか。競技開始前には、県立大学ダブルダッチサークル「RÔPÉ À DÔPÉ」によるパフォーマンスと指導が行われます。

■日時 3月4日(土) 午前9時～正午
(受付 午前8時30分～)

■会場 総合体育館 大アリーナ

■参加資格 町内の地域や職場、スポーツ少年団などの団体で構成され

たチーム(7人以上)および個人、親子

■種別 (1) 1チーム7人以上で「8の字跳び」の合計回数を競う団体種別
(①小学校低学年の部、②小学校高学年の部、③中学生以上の部、④混成の部 ※いずれも性別不問)
(2) 1人で跳んだ回数を競う個人種別
(①幼児の部、②小学校低学年の部、③小学校高学年の部、④中学生以上男女の部)

(3) 親子2人で跳んだ回数を競う親子ペア種別

(①幼児親子の部、②小学校低学年親子の部、③小学校高学年親子の部)

■参加費 団体種別1チーム1500円、個人種別1人200円、親子ペア種別1組400円

■申込・問合せ 2月26日(日)まで
(一財)紫波町体育協会
☎676-2650 FAX 676-2574

オガール通信 OGAL*PRESS



「第2回 オガール交通安全ワークショップ」を開催します

町は、オガール地区の交通安全を考えるワークショップを開催しています。第2回は、他の事例を学び、オガールの未来を描きます。どなたでも参加でき、お子さま連れでも構いません。申し込みの上、ご参加ください。

■日時 2月24日(金) 午後3時～5時15分

■会場 情報交流館 2階 大スタジオ

■申込・問合せ 2月21日(火)まで

企画課 公民連携室

☎672-2111 内線2291

役場旧庁舎敷地を活用する事業者公募に向けて民間事業者の皆さんとの「対話」を実施します

役場庁舎の移転に伴い、旧庁舎の敷地(日詰字西裏23-1、国道4号沿い)を町から購入、または定期借地により借り受ける事業者を公募する予定です。

事業者公募に先立ち、民間事業者の皆さんの意向などを把握しながら公募に向けた条件整理を行うことを目的に、事業者との対話を実施します。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

■問合せ 企画課 公民連携室 ☎672-2111 内線2290



ラ・フランス温泉館《20周年企画》第1弾～
④と⑧のつく日は【期間】2017年2/1(水)～2017年3/31(金)まで

紫波の日開催!!

特典 平太くんカード ポイント7倍 ほか、特典多数

紫波ネット限定

入湯料金割引サービスのご案内

ご自宅に届いたこの広報紙面をご持参ください

1 大人一名あたり
入湯料500円
※1枚につき
2名様まで有効

検印欄

2 入湯回数券
(5回券)が
2,500円

検印欄

有効期日 2017年3月30日

※各割引サービスは1回限りとさせていただきます。

お問い合わせ
紫波町小屋敷新在家90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556

ハダカのおつきあいで一家だんらん。

La France
ラ・フランス温泉館

ラ・フランス温泉館 検索 URL <http://www.lafrance.co.jp/>

こずかた診療所 内科

■診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30

■受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00

■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。

■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵工新田5-67-1医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)

☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

ワイナリーでお待ちしております

直売・試飲・工場見学ができます

お土産に
紫波の
ワインを

自園自醸ワイン 紫波

岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
お買い求めは県内酒販店・スーパー・百貨店にて



(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原 1-11 (道の駅紫波の裏手)

☎019-676-5301 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/> 紫波ワイン 検索

紫波ネット広告を募集しています

■掲載料 1枠1万800円(税込み) ■申込・問合せ 企画課 協働広報室
☎672-2111 内線2322 ✉shiwa.info@gmail.com

町長 熊谷 泉 メッセーじ

今年のお正月は雪も無く大変穏やかな三が日でした。車に乗る人にとっては快適であり、歩行者にとっても安心だったことと思います。しかしなんとなく落ち着かないのは雪国に育ったせいかもしれません。小寒のころには寒波が来襲し、例年通りの冬景色となりました。農家の方々にとっては冬寒くても夏暑くなければ困るものです。

降雪による車の物損事故も減少すると思われるますが、ここで昨年の治安情勢に触れてみたいと思います。

町内の交通事故は死者が0人であったものの、人身交通事故は平成27年の53件から28年は69件と増加しています。高齢者が原因となる割合は年々増加傾向にありますが、昨年は紫波警察署管内で27人の高齢者が運転免許証の自主返納を行っています。

また、町内の刑法犯の認知件数は平成27年の59件から28年は73件と増加傾向にあります。特に住宅侵入や車上狙い、自転車盗などの窃盗が16件も増加しており、昨年は西部地区での件数が多いと報告されています。昔は農家では鍵を掛ける習慣もなく被害に遭うことが少なかったのですが、昨今の状況では充分注意しなければなりません。特に住宅に侵入してきた犯人と遭遇した場合、凶悪犯罪に及ぶ危険があります。今一度家族で鍵を掛ける習慣を身に付け、犯罪の被害に遭わないように気をつけていただきたいと思います。

中央葬祭センター シンセラホール紫波

「しらゆり会員」募集中

- 生花・盛籠(各種)1,000円割引
※税込21,000円以上の商品に限らせていただきます。
- 祭壇貸出料20%割引
- 通夜室使用料20%割引
- 仏具展示品10%割引
- 引き出物、返礼品10%割引

入会金 10,000円

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」
岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎676-7676 FAX676-4404

総合型地域スポーツクラブ 紫波ウイング

平成29年度 会員募集

見学・体験OK!!お気軽にお問い合わせください

紫波ドリーム 健康づくり 運動不足解消 さあ!体を動かそう!! 月曜 19時～ 総合体育館 対象 小学生までとその家族	レディーステニス 毎週水曜 10時～ サン・ビレッジ紫波	ジュニアテニス 毎週金曜 小学生対象コース 毎週水曜 選手育成コース 19時～ サン・ビレッジ紫波	卓球クラブ 毎週木曜 19時～ 総合体育館 対象 小学生～シニア	スポーツ吹矢 月曜(月2回) 19時～ 総合体育館 水曜(月1回) 13時30分～ オガールプラザ
---	---	---	--	--

問合せ先 事務局携帯 080-5847-5962
E-mail shiwa-wg@gymna-shiwa.jp

売却物件募集中

お気軽にご相談ください【相談無料】

岩手県知事免許(2)第2440号・(公社)全日本不動産協会会員

(株)プラス不動産サービス

〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ソフトバンク紫波さん 隣り)
☎019-671-2161 プラス不動産サービス 検索

医療保険適用 在宅マッサージ

無料 お試し体験 実施中!!

- ・歩行が困難な方
- ・身体にマヒがある方。不自由がある方
- ・車椅子使用の方など…

お気軽にお電話ください。

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

ご利用につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ 盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.フリーダイヤル ☎0120-213-222

遠近両用メガネは、歳取ったことを忘れさせてくれるメガネです。

紫波中央駅前 オガールプラザ東棟 紫波中央眼科隣に支店を開業いたしました

遠近レンズ体験フェア開催中!お気軽にお試し下さい。

当店には認定眼鏡士が在籍しております。
眼科処方箋承ります

鏡形率次のあるさと紫波町のメガネ店
眼鏡屋 目明かし堂
オガール店 ☎672-5572 日詰店 ☎676-2838

目明かし堂 検索
www.meakashi.com
有限会社 佐藤時計店

相心館 ゆう 美容室

自分だけのデザイン 思いを言葉に表して見てください

2月 サービス 実施中

美容師募集いたします

メール会員になると、もっとお得な情報がゲットできます。
携帯・スマホからアクセス!「QR画面」表示してください。

【月・第3日曜定休日】2月13日・19日・20日・27日・3月6日・13日・19日・20日・27日
〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31
TEL019-676-5825
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/ E-mail yu@posh.jp OPEN 8:45 CLOSE 18:30

古町駅 相心館 ゆう美容室 中島眼科 加藤医院 4号線



最初の出会いを大切に ～結婚・交流支援の活動紹介～

「出会う機会や交流する場が少ない」と悩む男女のために、相談に耳を傾け、出会いの場を提供する取り組みがあることをご存じですか。町内で行われている3つの取り組みをご紹介します。

安全・安心の結婚支援 気軽に相談ください

● 出会い支援相談

「紫波町出会い支援協議会」は「結婚したくてもなかなか出会いが無い」という人のために、最初の出会いを支援する「出会い支援相談」を行っています。

■ 日時 毎月第2金曜日

午後7時～8時

■ 会場 勤労青少年ホーム

※忙しくて相談日に参加できない人のために、日詰商店街内の会長宅（リサイクルショップ「フリマ探偵団」くまがい）でも相談に応じています。要予約。

■ 問合せ 紫波町出会い支援協議会 熊谷

☎080(6049)6431

（問合せ時間 正午～午後1時）

＜主催者からのコメント＞

私たちの取り組みの特徴は、本人からの相談はもちろん、親御さんからの相談にも応じていることです。出会いを希望する人にはプロフィール情報を登録していただき、登録した人のみ紹介しています。スタッフは全員ボランティアで、皆さんからの相談に応じています。秘密厳守で安全安心を心掛けています。気軽に相談ください。



紫波町出会い支援協議会
会長 熊谷 優子さん

出会いを楽しむ交流イベント に参加してみませんか

●紫波コン

カフェスタイルバー「VIVID」
と生花店「バルーンフラワー」が連
携して、平成27年から始めた新し
いスタイルの婚活イベントが「紫波
コン」です。町外からの参加者も多
く、28歳～45歳の未婚の男女が対
象。10対10の少人数制です。参加申
込書への記入など、参加条件があり
ます。事前に問い合わせください。
(※次回は6月上旬に開催予定)

■問合せ

カフェスタイルバー「VIVID」

☎(676)3260(高橋)

バルーンフラワー

☎(601)6191(田村)

〈主催者からのコメント〉

当初、紫波コンは年に2回の
ペースで開催予定でした。しかし
参加者から好評だったこともあり、平成27年10月に第1回を開

催してから平成28年11月までに
4回開催しています。お花のア
レンジメントなどの体験交流を
行った後、昼食をとりながら、お
互いを知る機会をつくっていま
す。真剣な交際の機会となるよ
う配慮しながら、今後も継続して
いきたいと考えています。



カフェスタイルバー「VIVID」オー
ナーの高橋 伸さん(左)と「バルーン
フラワー」代表の田村 正道さん(右)

●48街コン

「48街コン」は、町内のお店を
会場に、出会いを楽しむ場として
年1回開催している交流イベン
ト。町商工会女性部と青年部が

合同で開催しています。参加でき
るのは、20～48歳の未婚の男女で
す。(※次回の開催日は未定)

■問合せ 紫波町商工会

☎(672)2244

〈主催者からのコメント〉

商工会女性部は平成14年から
結婚支援のためのパーティーを
開催してきました。世相に合った
形で、まちのにぎわい創出につな
がるイベントにしたいという思
いから、平成27年、28年は青年部
と合同で「48街コン」として日
詰商店街を会場に交流イベント
を開催しました。主催者として
は参加者への気遣いを心掛けて
います。あくまでも縁づくりの取
り組みです。幸せになっほしい
という母心もありますね。



紫波町商工会女性部
部長 後藤ミツ子さん

“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」

“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」は、
県・市町村・主要民間団体が協力して、結婚したい人を応援しています。

◎「i-サポ」ってどんなところ? 会員登録制によるお見合い事業や、結婚を希望する方々・独身
従業員の結婚を応援する県内企業・団体などへ婚活イベント情報の発信などを行っています。

◎入会条件 県に在住または在勤で結婚を希望する20歳以上の独身の人。県外在住の人で
も結婚後、県に居住できる人であれば入会可能。

【問合せ】 〈i-サポ盛岡〉 盛岡市菜園1-3-6 農林会館 6F ☎601-9955

■開所時間 平日 午前10時～午後7時、土日 午前9時～午後6時

■ホームページ <http://www.ikiiki-iwate.com>

※全て予約制です。必ず電話をしてから来所してください。



健やかランド紫波

健康と福祉の情報コーナー

【担当】長寿健康課 健康推進室 ☎672-2111 内線1347

ストップ！メディア漬けの子育て

スマートフォン(以下「スマホ」)の爆発的な普及に伴い、子育ての現場にもスマホが活用されています。スマホを使っている乳幼児の母親は全体の6割。そして、母親がスマホを使用している2～3歳児のうち、2割強が自分でもスマホを使っているといわれています。(資料 日本小児科医会「子どもとメディア」対策委員会)



子守のためにスマホを使用したり、子どもをテレビやビデオなどのメディアに長時間触れさせたりすることは、子どもたちのさまざまな発達を妨げる危険があります。親と子どもが目と目を合わせ、触れ合うことで親子の愛着が育まれます。日頃の子育てを振り返り、以下のことを心掛けましょう。



① 赤ちゃんの欲求に適切に応える「やりとり」を大切に

話すことができない赤ちゃんは、手足を動かしたり、表情を変えたり、泣いたりして自分の欲求を親に伝えています。その動作から「どうしたのかな?」と思い巡らせ、解決しようとするのが親の役割です。このような「やりとり」をとおして、親子関係が育ち、愛着が形成されていきます。赤ちゃんが泣いているときには、アプリなどを使って泣き止ませるのではなく、抱っこしてあやすことが大切です。

② 見逃さないで！大切な子どものサイン

子どもは「一緒に見てー」「こっち見てー」など、親の関わりを求めています。同じ物や風景を一緒に見る「視線の共有」は、言葉の発達や他者の心の理解、共感性を育てるのに必要なことです。保護者が「メディア漬け」になってしまう

と、時間と空間は一緒にいるのに、心は共にいないという状況をつくり出してしまいます。絵本の読み聞かせなど、親子が同じものに向き合って過ごす時間は、親子が共に育つ大切な時間です。

③ 歩きスマホにご用心

「歩きスマホ」は歩行者の視野を狭くしているといわれています。実際に「自分がスマホを見ている間に赤ちゃんがベッドから落ちてしまった」という事例もあります。ベビーカーを押しながらスマホを見ていては、周囲の危険から赤ちゃんを守ることができません。赤ちゃんが寝ているときだけスマホを使用するなど、スマホを使う時間を考えてみましょう。



④ 親子で体を使ってたくさん遊びましょう

乳幼児期は手の働き一つをとっても、握る、つかむ、離す、つねる、はさむなどさまざまな働きを、遊び

や実体験を通じて発達させていきます。親子が一緒に散歩や外遊びをすることは、子どもの体力や運動能力、そして五感や共感性を育むことにつながります。

(公社)日本小児科医会は子どもとメディアの問題に対して、以下の5つのことを提言しています。

- ① 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。
- ② 授乳中・食事中のテレビ・ビデオの視聴はやめましょう。
- ③ すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
- ④ 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピュータを置かないようにしましょう。
- ⑤ 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

家族で今の生活を振り返り、子どもたちを「メディア漬け」の生活から守っていきましょう。

障がいのある人が利用できるサービスをご存じですか？ ～「障害福祉サービス」と「障害児通所支援」のご案内～

「障害福祉サービス」と「障害児通所支援」は、障がいの種別に関わらず、障がいのある人が障がいの程度や心身の状況を踏まえた上で、それぞれに合ったサービスを利用することができる制度です。在宅訪問や通所して利用するサービスと、施設やグループホームに入所して利用するサービスがあります。

■障害福祉サービスとは？

○対象となる人

身体障害者手帳や療育手帳を持っている人、精神障害のある人、難病などの対象疾病の人

○サービスの種類

《在宅サービス》居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援、短期入所（ショートステイ）

《通所サービス》就労移行支援、就労継続支援A型・B型、生活介護、療養介護、自立訓練（機能・生活訓練）

《居住支援サービス》施設入所支援、共同生活援助（グループホーム）

■障害児通所支援とは？

○対象となる児童

障害者手帳を持っている、または特別児童扶養手当などの対象となっている児童、障がいの診断を受けた児童（医師の診断書などが必要です）

○サービスの種類

児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援

※サービスや事業所などの詳しい内容については町民福祉課に問い合わせください。

■サービス利用の流れ

(1)相談・申請 利用したいサービスや事業所について相談の上、申請をします。町民福祉課窓口のほか、障害者相談支援事業所でも相談を受け付けています。

(2)心身の状況などの調査 現在の障がいや生活の状況について聞き取り（調査）を行います。

(3)区分認定 心身の状況などの調査結果を審査し、医師や専門員で構成される審査会を経て、障害支援区分（区分1～6）を認定します。障害支援区分を必要としないサービスもあります。

(4)決定・受給者証の交付 障害支援区分や申請者の生活環境、要望などを基にサービスの支給量を決定し、受給者証を交付します。

(5)契約・利用 利用するサービス事業所や施設を選び、受給者証を提示して利用に関する契約をします。町外のサービス事業所や施設も利用することができます。

■利用者負担額

原則一割負担（世帯の所得状況に応じて上限月額が設定されます）

■申請手続き

- ・申請は町民福祉課窓口で受け付けています。
- ・申請に必要な書類や持ち物がそれぞれ異なりますので、あらかじめ町民福祉課に問い合わせください。

からだよろこぶヘルシーレシピ

4人分

豚ひき肉……………	100g	トマト……………	200g	油……………	適宜
豆腐……………	100g	（今回はホールトマト缶を使用）		玉ネギ……………	小1/2個
片栗粉……………	小さじ1	コンソメ……………	小さじ2	大根……………	200g
水……………	500cc	めんつゆ……………	大さじ1	シメジ……………	1/2房

- ①玉ネギは粗みじん切り、大根はいちょう切り、シメジは石づきを取り除き小房に分けておく。トマトは一口大に切る。
- ②油を熱した鍋で玉ネギをさっと炒め、水と大根を加えて煮る。
- ③大根がやわらかくなってきたら、シメジとトマトを加えてさらに加熱する。
- ④豚ひき肉と豆腐をよく混ぜ合わせる。片栗粉を加えてさらに混ぜ、8等分にして丸める。
- ⑤③にコンソメ、めんつゆを入れて味を調えたら、肉団子を入れてふたをし、静かに煮る。肉団子に火が通ったら出来上がり。

〈ワンポイント〉野菜などをたくさん入れることで、スープの量が減り、塩分を抑えることができます。

根菜と肉団子のスープ

長寿健康課 佐々木絵里子栄養士のレシピです





無病息災を願う伝統行事 五元日祭裸参り

志和八幡宮氏子青年会(高橋一弘会長)主催の五元日祭裸参りは1月5日、志和八幡宮で行われました。この行事は南部杜氏の起源である権兵衛酒屋の蔵人たちが始めたといわれ、戦後一度途絶えたものの、昭和50年に同会が復活させ今年で42回目。気温がマイナス2度まで冷え込んだ早朝6時、25歳から58歳までの奉納者21人が、荘厳な面持ちで一歩ずつ参道を練り歩き、無病息災を祈願しました。

鐘を鳴らし、紙を木に挟んだ「挟み」を振りながら練り歩く参加者たち



これからのオガールと図書館を考えるシンポジウム開催



「図書館は自宅でも職場・学校でもない第三の居場所として期待されている」と話した猪谷さん

町は12月20日、「オガール×図書館シンポジウム」を開催しました。昨年9月に『町の未来をこの手でつくる 紫波町オガールプロジェクト』(幻冬舎刊)を出版した文筆家の猪谷千香さんが講演。全国の図書館の事例を紹介しながら、町図書館について「農業支援に力を入れ、農家の方々のコミュニティの場になろうとしている非常に珍しい図書館」などと紹介しました。講演の後にはオガールデザイン会議委員長の清水義次さん、委員の長谷川浩己さん、佐藤直樹さん、松永安光さん、竹内昌義さんを加えてパネルディスカッションを実施。参加した約100人に向けてオガールに対する思いなどを語りました。

心身の成長願う寒稽古

町空手道協会(足澤國男会長)は1月7日、新春恒例の寒稽古を行いました。心身の成長と健全育成を目的に昭和58年から行われており、今年は4歳から60代まで21人が参加。日詰地区から赤石地区を回る約6kmの道のりを「イチ、二、オー」の掛け声とともに走破しました。赤石小学校6年生の中條蓮君は「旗を持ちながら走るのは重かったけど、声を出して頑張ることができました。今年も休まずに稽古に励みたいです」と意気込んでいました。

気合を入れて走る参加者たち



真剣なまなざしで質問する生徒

「町のありべき姿」を考え、問う
紫波総合高生が

選挙権年齢が引き下げられたことから、高校生に議会や選挙を身近に感じてもらうことを目的とした「高校生議会」が1月21日に開催されました。紫波総合高校の3年生17人が参加。2人1組で人口減少問題や水害への対策などについて質問し、町の部長などが答弁しました。藤井詩織さんは「日頃問題があると感じている街灯と道路標識について質問しました。若い世代の考えを伝えるためにも、積極的に選挙に参加したいです」と選挙への関心を深めていました。



勇壮に日詰商店街を行進する団員たち

新年を迎え、 防火意識も新たに

町消防出初め式は1月8日、ナックス駐車場で行われました。消防団や婦人消防協力隊、消防署などから約320人が参加。統監の熊谷町長は「町は災害への対策を強化していきます。皆さんも町民の安全・安心を守る決意を新たにさせていただきたい」と訓示。阿部秀夫団長は「関係団体の力を合わせてこの町を守っていききたい」と力強く話しました。式典前には日詰商店街で土気旺盛な分列行進を披露しました。

日詰・古館こども教室合同の新春お茶会が1月14日、紫波総合高校で開かれました。親子8組19人のほか、紫波総合高校茶道部の生徒15人が参加。子どもたちは茶道部の皆さんの指導のもと、実際にお茶を点て、親に振る舞いました。古館小学校3年生の多田陽紀君は「昨年参加したときよりも上手にお茶を点てることができました。お茶は苦かったけど、おいしかったです」と笑顔でした。



茶道部の皆さんからは「にぎやかで楽しかった」との声が聞かれました

親に感謝の気持ちを込めて 新春お茶会

みんながいきいきと暮らせる 社会を目指して



後藤さんは「女性の社会進出のためには、男性の家庭進出も一緒に考えることが必要」と強調しました

町は1月29日、男女共同参画・女性活躍推進シンポジウム「男性育休ホントのところ」を開催しました。町男女共同参画推進委員の内城寛子さんがコーディネーターを務め、パネリストとしてNPO法人ファザーリングジャパン東北の後藤大平さん、北上市役所の木野渉さん、信幸プロテック(株)(矢巾町)の村松直子さんと北田英範さんが登壇。男性が育児休業を取得するまでの経緯や周囲の反応などに関する話のほか、育児休業の取得を推進する企業の考えも交えたパネルディスカッションが展開され、参加した約50人は一人一人が小さな気付きから実践していくことの大切さについて学びました。

みずき団子で世代間交流

佐比内保育所(小田島恵所長)で1月13日、みずき団子作りが行われました。保育所の子どもたちや老人クラブ、母親クラブのメンバーなど35人が参加。赤、白、黄、緑に色付けられた団子は、子どもたちの小さな手で丸められ、一つ一つミズキの枝に飾り付けられました。中田百々花ちゃんは「団子を丸めて木に付けるのが楽しかったです。上手にできました」と満足の表情でした。

老人クラブの方々に教わりながら団子をミズキの枝に飾り付ける子どもたち



行ってみよう

めぐって学んで五感で
味わう紫波探訪

あたたかい人がいる、いこいの場所がある。
見て、聞いて、学んで、知って、味わって。
五感で味わう紫波の魅力をご紹介します。



紫波のひなまつり

- 日時 3月3日(金)～5日(日)
午前10時～午後4時(最終日は午後3時まで)
- 会場 平井家住宅、日詰商店街有志の店舗、旧保健センターなど
- 入場料(平井家住宅) 大人500円/小中学生200円/幼児無料
- 駐車場 足澤放射線科跡地、日詰商店街駐車場、習町駐車場、旧保健センター横などをご利用ください。
- 問合せ (株)よんりん舎 ☎ 671-1755
※イベントの詳細は問い合わせください。

家ごとに展示されるおひな様それぞれの顔や衣装の違い、平井家住宅の造りなどを楽しみながらご覧ください(写真は、平成28年の展示の様子)

「平井家住宅」へ華やかな ひな人形を見に行ってみよう

今年で10回目を迎える「紫波のひなまつり」。毎年日詰商店街で開催され、早い春の訪れを告げる、華やかな行事です。

昨年2月に国の重要文化財に指定された「平井家住宅」をメイン会場に、町内や町ゆかりのお宅などから集められた、約15組の歴史あるひな人形が展示されます。

期間中は、会場の平井家住宅にまつわるお話や落語、講談、箏と尺八の演奏などを日替わりで開催。最終日には、山屋田植踊が披露されます。お茶席や甘酒のお振る舞いも楽しみの一つです。この他、日詰商店街の有志の店や旧保健センター、鈴の音サロ(日詰商店街 盛岡信用金

庫南側斜め向かい)などで歌や郷土芸能のイベントも開催されます。

実行委員長の齊藤政男さんは「平井家住宅が国の重要文化財に指定されたことを受け、昨年から歴史ある日本家屋の造りも一緒に楽しめるよう、床の間などの展示に工夫をしています。国指定重要文化財の中にひな人形を飾ることは珍しく、とても貴重です。日詰商店街でもイベントに合わせたおもてなしをするので、一緒に楽しんでください」と見どころを語ります。

歴史あるひな人形と、町が誇る歴史的建造物を見に、家族みんなで足を運んでみませんか。



つるしひなや
木目込み人形の展示も
見応えがありますよ

お話を伺った紫波のひなまつり実行委員長の齊藤政男さん



日詰商店街にある「平井家住宅」がメイン会場。大正10年に建てられ、新築披露宴には当時の首相・原敬も訪れました

